

# 令和7年度 第2回学校関係者評価委員会（報告）

鹿児島県立与論高等学校

- 1 日 時 令和8年2月17日(火) 午後3時30分～4時30分
- 2 場 所 本校学校図書館
- 3 出席者 (1) 学校関係者評価委員(4人)  
与論中学校長, 与論町教育委員会事務局長兼学務課長, 学習塾まなび島塾長,  
与論高校PTA会長  
(2) 本校職員(10人)  
校長, 教頭, 事務長,  
4部主任(教務, 進路指導, 生徒指導, 保健), 1～3学年主任
- 4 日程等 (1) 授業参観  
(2) 評価委員会 校長挨拶, 本年度の教育活動総括(各部), 協議(学校評価, 意見交換, 提言・要望等)

## 5 質疑応答・意見・感想

- シラバスの使用法が学年が上がるにつれて向上していかないのが気になる。導入当初からするとよくなってはいるが、使い方によっては効果的なものになるはずなので、改善して欲しい。
- 入試対策について、卒業生から在校生へのアドバイスが積極的になされている。このようなネットワークを可視化できたらよいと思う。
- 自宅学習への取り組みについては、強制的と自主的のバランスなど、中学校でも課題感がある。中高一貫での連携ができないか。
- スポーツ関係で島外へ進学する生徒が多い。部活動における中高連携に積極的に取り組むべきではないか。
- 生徒にはさまざまなボランティアに参加してもらっているが、生徒の負担になっていないか。  
→学校としては、学校以外の学びとなっており、大変ありがたいと考えている。無理強いもない。
- 与論島で生活する上で、進路情報を実際に目にする機会が極端に少ないのは事実であるが、そんな中で早期から意識付けをしてもらえるのは大変ありがたい。